

# 公益社団法人 信和会 看護奨学生だより

2023年1月号

公益社団法人信和会 看護部長 鴨川聡子



明けましておめでとうございます。

昨年度から食料品・日用品が次々と値上げされ、光熱費や燃料費も高騰が続いています。また、新型コロナウイルスも収束の気配が見えません。これらの社会の状況は、病気や障害を抱え生活する人たちにとって、身体機能の維持に直接影響を及ぼします。看護師には、社会の動きや変化が患者・利用者にとどのように関連していくのか、考えを巡らす力が必要です。看護学生の方々には、日常の中に自身と社会との繋がりを感じていただき、この力を養っていただきたいと思います。2月には看護師国家試験が予定されています。感染対策にはくれぐれも気を付けていただきますよう、周囲の方々にもお願い申し上げます。

京都民医連あすかい病院 事務長 富山隆



奨学生の皆さん、お元気に過ごされていますか？ 2020年から始まった新型コロナウイルス感染症との闘いも、もう3年と長期になり、皆さんの勉強環境も生活も大変になっていると思います。2022年は、京都民医連あすかい病院も試練の年となりました。3回もの院内クラスターが発生しました。何とか全職員の協力と奮闘で乗り越えることができました。また、全国の民医連事業所の仲間から、激励のメッセージや物資が届けられ、大変勇気づけられました。私たちには、全国に多くの仲間がいることを実感しました。奨学生の皆さん、私たちの仲間になりましょう。一緒に笑い、一緒に泣き、一緒に困難を乗り越えていきましょう。お待ちしております。

京都民医連あすかい病院 看護部長 征矢陽子



今年も明けましたね。平穏だった方、多忙極まりなかった方、学業に励んだ方とそれぞれでしょう。社会は動きはじめ通常を取り戻していくように感じているでしょうが、やはり病院ではコロナ感染対策を講じた医療や介護の提供を継続せざるを得ません。ウイルスを持ち込まないために、職員も必死です。そんな中でも、目の前に患者さんやご家族がいます。退院指導や病状悪化時の面会、看取り後のお別れへの立ち合いなど、看護力を最大限に発揮して対応しています。しかし、病院や看護職への行政による処遇改善は後回しにされている現状。悔しいっばいです。社会情勢をとらえる力も持って、一緒に看護を語っていきましょうね。みなさんの笑顔に会えるのを、楽しみにしています。

京都民医連あすかい病院 副看護部長 谷淵末生



あけましておめでとうございます！感染対策と研修の担当をしています。2022年度も新型コロナウイルス感染対策に気を付けながら、研修を実施できました。1年目看護師の研修では、技術研修に始まり、後半はレポートの取り組みを頑張っています。京都民医連看護の研修システムは、「あらゆる場における全ての看護師に共通する看護実践能力の指標」として全国的に統一された研修と、民医連看護の要素を踏まえた制度になっています。研修と育成面接、職場全体で育ちあうことを基本として取り組んでいます。自慢の研修制度です、安心してください！今年もよろしくお祈りします！

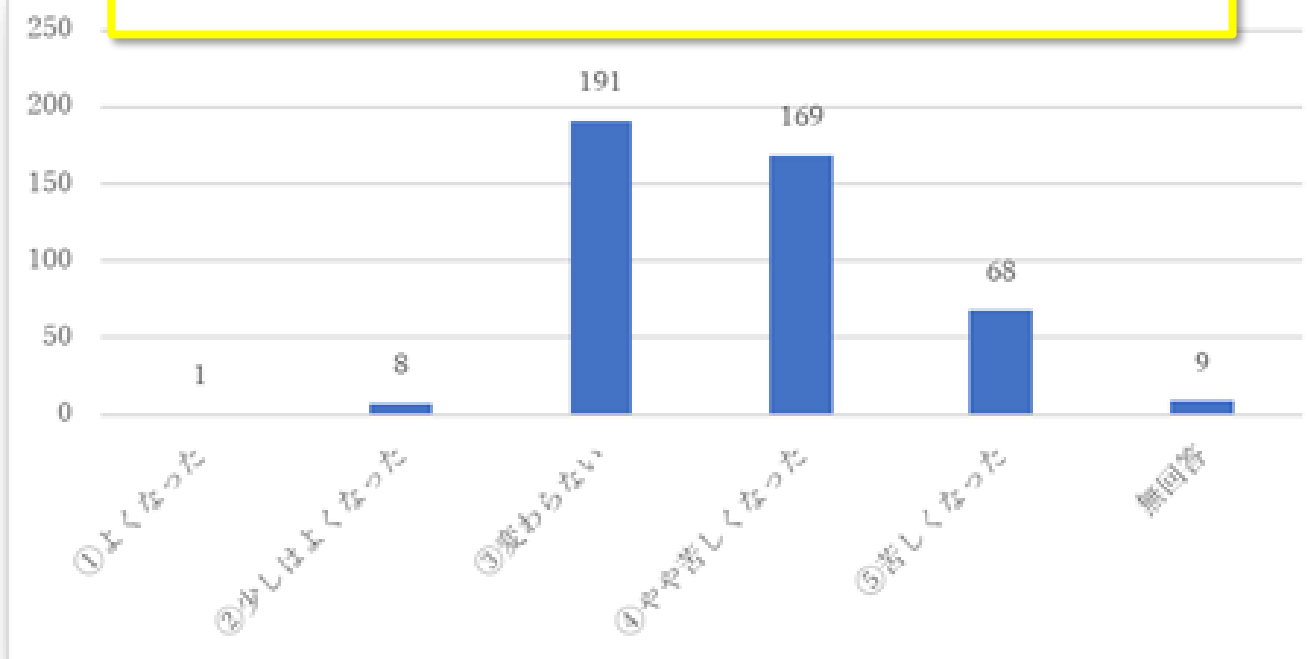
## 共同組織～取り組み月間



信和会は東山区・山科区・左京区の3つの行政区で病院や診療所、介護事業所を展開しています。信和会の共同組織は洛北診療所友の会・東山健康友の会・山科健康友の会・左京健康友の会の4つの友の会が1万2千名の会員と共に18の支部で、健康講座、医療懇談会、レクレーションなど地域の要求にもとづいて安心して住み続けられるまちづくりの取り組みを進めています。

2022年度秋の社保共同組織月間は、安倍元首相の国葬反対の取り組みや、75歳以上で一定以上の所得の方の医療費2割負担が10月1日から実施されたこと、京都市の行財政改革のもとでインフルエンザの予防接種負担金補助制度の改悪、介護保険制度の改悪、軍備拡大と増税が言われる中、憲法を守れ、暮らしを守れの声が大きく広がる月間でした。

### 以前と比べてあなたやご家族の生活はどう変わりましたか？





10月から11月にかけて取り組まれた暮らしと要求アンケートには447名の方から回答が寄せられました。以前と比べて生活は変わりましたかの問いに、「やや苦しくなった」と「苦しくなった」は全体の53%となりました。「医療費窓口2割負担で、食費を切り詰めるしか方法はないが、食品の値上げで生活できません」「数年衣服を購入していません」など生活の厳しさを訴える声がたくさん寄せられました。生の声をもっと発信していくことが大切です。憲法問題では7割の方が改正に反対と答えておられますが、民医連事業所に比較的近い関係にある友の会会員でも9条の改正に賛成・わからないが2割以上おられました。現状認識の為には両方の視点からとらえることが重要となっています。

この月間で212名の方が新しく友の会に入会されました。いつでも元気の読者は65名迎えることが出来ました。こうした人たちと手をつなぎ、安心して住み続けられるまちづくりに向けて取り組みを継続したいと思います。



## 診療事務課の紹介



直接診療には関わることのない事務職ですが、患者さんが具合の悪い時に治療を受けるだけでなく、そのあとも安心してかかり続けることのできる生活環境を創るためには、医師や看護師との連携が重要です。

仕事を始められたら、是非事務職員との連携も意識してみてください。

皆さんと一緒にお仕事ができる日を待っています。

診療事務課は病院の事務部門のうち、医療事務と言われる分野の業務を行う部署です。

患者さんが病院で最初に接する場所である受付をはじめ、医療費の会計計算、診断書や生命保険の入院証明書、介護保険の書類など数えきれないほどの種類の書類を医師に依頼し、発行する業務などを外来、入院、在宅の3つの分野で行っています。



## あすかい病院 キラッと看護の紹介



緩和ケア病棟で、クリスマスコンサートを開催しました。内容は、『ピアノ演奏』『ピアノ&歌唱』『ハンドベル』です。

ピアノ演奏は、いつも患者さんのことを第一に考えて医療を実践してくれる緩和ケア病棟担当の医師がトナカイの着ぐるみを着て演奏しました。

ピアノ&歌唱は看護師、ハンドベルは緩和ケア病棟の看護師以外にも、作業療法士・医療相談員・臨床心理士・緩和ケア病棟医長・緩和ケア病棟部長と多くの他職種が担当しました。

日々の業務でなかなか練習する時間がない中で、中にはぶっつけ本番の人もいましたが、とってもうまく!?演奏できました。

最後は、患者さん・ご家族も一緒にハンドベル演奏をし、短い時間ではありましたが、参加したみんながほっこりできるひと時になりました(\*^-^\*)

## 訪問看護ステーションどんぐりの紹介



東山区にある訪問看護ステーションどんぐりです。看護師7名と事務1名のスタッフがおり、神社仏閣の多い観光地で四季折々の景色を楽しみながら日々地域を走り回っています。外に出ていくことも億劫になるこの季節ですが、ホッカイロや雪だるまのような厚着で毎日頑張っています。

訪問看護の魅力は利用者さんとじっくり向き合える事です。この魅力をたくさんの方に知っていただき、訪問看護に興味を持っていただける看護学生さんが増える事を願っています。

そして、この度11月に事務所を移転しました。近場での引越越しとなりましたが、心機一転新たな事務所で活動中です。看護学生のみなさんも機会があれば、ぜひお立ち寄りください。